

3 . 現地視察について

1 . 目的

平成 15 年度流域委員会審議における流域の現状の把握にあたり，委員の情報共有化の一環として，現地の視察を行う。

2 . 審議

1) 現地視察の実施日程

現地視察の実施日程をご確認願います。なお，事前に実施した日程調整表については，参考-1（巻末に添付）に示す通りです。

【確認事項】

第 3 回流域委員会（現地視察）：平成 15 年 7 月 3 日（木）

第 4 回流域委員会（現地視察）：平成 15 年 7 月 15 日（火）

2) 現地視察の開催時間

現地視察の開催時間についてご確認願います。

【確認事項】

・開催時間 13：00～17：00 頃

3) 現地視察候補箇所

) 現地視察の観点

委員会として円山川大臣管理区間の現地視察はどのような観点から実施すべきでしょうか(複数回答可)。

環境に重点をおいて実施する。	9名
治水に重点をおいて実施する。	6名
利水等の河川利用に重点をおいて実施する。	3名
観点を定めず万遍なく実施する。	12名
その他(具体的に:)	2名

【 その他を選んだ委員の意見として】

- ・ ~ に書かれた観点、あるいは現地視察地点で挙げられた場所は、すでにコンサル、管理者に一定の観点があることが伺えます。なぜ、そのような「観点」がでてくるのか、それについて知っておくことは決してマイナスではないので、まずその議論をしておきたい。それも基にワークショップなどを行い、河川を観る視点を定めたらどうか。
- ・ 歴史的見地から(委員からの資料提供 参照)

) 現地視察地点の定め方

円山川大臣管理区間の視察地点はどのような方法で定めればよいでしょうか(複数回答可)。

(委員として視察したい地点と他の委員に見て貰いたい地点の両方を含んでの)各委員の推薦に基づいて。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12名
(既往の資料の検討に基づいた)庶務の推薦に基づいて。・・・・・・ 11名
河川管理者の推薦に基づいて。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9名
その他(具体的に：)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2名

【 その他を選んだ委員の意見として】

- ・ ~ の場所を提示してもらい,リストにその理由を記し,その中で時間を勘案して決める。
- ・ 大臣管理区間以外に、円山川全体を把握する必要から、生野町円山、小田和地区の2水源(国道から徒歩数分という特殊性をも捉えて)

【委員からの関連意見】

- ・)の議論(前述)のその他意見の一つ目)を経ていれば, , で準備してもらえれば良い。
- ・ 私自身はまだじっくりと円山川を見学したことがありません。そのため視察地点について意見する根拠がありません。ただスポット的に見学するよりも水がどこからどのような環境の中を旅してゆくのかという「水」の気持ちになって上流域から河口までたどりたいという気持ちはあります(個人的に行くつもりですが)。短時間では見学する場所が限られますので,例えば夏休みなどに宿泊を伴う見学研修を開催する案はいかがでしょうか。また,その際には日常的に円山川と普通に関わっていらっしゃる住民の方の生の声もお伺いしたいです。円山川が流域の人の生活や意識の中にどの程度密着しているのか知りたいです。
- ・ 時間的に制約があると思います。これまで見たことのない場所,個人では現地で説明を聞くことができない場所。
(庶務よりの注記:具体的には,六方川排水機場,八代排水機場等か。)

) 委員として視察したい地点や他の委員に見て貰いたい地点について

表-1 委員の推薦に基づいて

地 点	理 由 等	人 数	備 考
のじょう 野上の湿地場周辺	・ 円山川の自然植生に近い	2 人	
豊岡市内の廃川	・ 円山川の昔の姿が見られる箇所。豊岡市の年配の人にとっては円山川の原風景となっているのではと思われます。	1 人	
生野町円山、小田和地区の 2 水源	・ 大臣管理区間以外に、円山川全体を把握する必要から。	1 人	
ひじふち 土淵より上流	・ 川の瀬と風景が変わったこと。	1 人	
山東町、八鹿町のダム建設予定地		1 人	
源流域の森林荒廃のひどい所。逆に森林再生事業がスタートしている所		1 人	
ひのそ島	・ 治水と自然保護の両立という観点	3 人	庶務案 4
下鶴井のヨシ原	・ 円山川の豊かな自然を象徴している ・ 円山川の自然植生に近い	3 人	庶務案 6
上ノ郷の河畔林	・ 景観が年々悪くなっていることを訴えたい	3 人	庶務案 19
新田井堰	・ 六方たんぼと円山川のつながり ・ 下流休耕田等の生物のすばらしさを訴えたい	2 人	庶務案 24
左岸側無堤防地区	・ 地域に住むものとして現況を見ていただきたい。円山川流域の中で整備が遅れている場所だと思います。	1 人	庶務案 3
軟弱地盤		1 人	庶務案 9
六方川内水対策	・ 治水対策の現場（私が居住している地域と密接に関係している。）	1 人	庶務案 12
コウノトリ	・ コウノトリの郷公園	1 人	庶務案 13
円山川防災ステーション		1 人	庶務案 17
蓼川井堰	・ 川の連続性の回復を訴えたい。	1 人	庶務案 18
赤崎（浅倉・赤崎地区）	・ 赤崎橋下等の丸石河原の重要性を訴えたい。	1 人	庶務案 22
その他の意見として ・ 自然の流れ，自然のしくみを阻止し，改変することが優れた事業と思っている 20 世紀型の人々が未だに居ること。自然の改変が次の代に多様な害を生じさせている事例をみる必要がある。			

) 既往資料の検討に基づいた庶務の推薦視察箇所の紹介

) 庶務案の中で要望の高い視察箇所

表-2 庶務案の中で要望の高い視察箇所

地点	地点名(名称)	地点	地点名(名称)
3	左岸側無堤地区	1 8	蓼川井堰
4	ひのそ島	1 9	上ノ郷の河畔林
6	下鶴井のヨシ原	2 2	浅倉・赤崎地区
9	軟弱地盤	2 4	新田井堰
1 2	六方川内水対策		

) 庶務案の中の箇所で視察したい理由など

表-3 庶務案の中の箇所で視察したい理由など

地点	地点名(名称)	理 由
3	左岸側無堤地区	・左岸側無堤地区を希望(実際には、豊岡市奈佐小橋から城崎町城崎大橋の間と考えられる)。
4	ひのそ島	・ひのそ島の掘削が完了しても洪水の対策として十分とは考えられない。
9	軟弱地盤	・左岸一帯の軟弱地には、護岸整備が必要と思われる。
1 2	六方川内水対策	・大改修時に六方川, 八代川の河口を付け替えた部分。付け替えと水門の因果関係を説明して頂きたい。
1 6	八代水門・八代排水機場	
<p>その他の意見として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝来町の川は, いかに早く水を流すとか考えられない整備がされており, 高齢者がいきなり和田山まで洪水の時に流される悲しいことがあった。下流の水量はいきなり増すと想像しています。水をためるような川の構造になっているような場所を視察してみたい。 ・視察候補箇所を見ていると、すべて見たくくなります。時間, バス等の駐停車を考慮して, 庶務で推薦頂いて良いと考えます。 ・14の円山大橋は上流域の視察行程に含めたほうが良くないでしょうか。 		

【審議】

- ・ アンケート結果による現地視察の観点を基に現地視察箇所の選定について審議願います。

4) 現地視察ルートの定め方

委員会にて選定された視察箇所をもとに、ルート案の最終決定の判断は、以下の通りとすることを庶務より提案しますが、審議願います。

【審議】

- ・ 本日、決定された地点について、庶務がルート案を作成し、委員全員に回覧し意見を求めた上で委員長が判断する。

5) 現地視察箇所の際の説明者について

6) 一般傍聴者の参加について

円山川流域委員会における一般傍聴者の受付は、原則として事前申し込みを行わず、当日受け付け先着順としているが、現地視察においては、バス(大型バス1台を予定。)の移動手段の手配があるため、現地視察に限り事前申し込みによる受付を行うことを庶務より提案致します。この一般傍聴者の事前申し込みについて審議願います。また、事前申し込みが了承された場合、その申し込み方法等について審議願います。

【審議】

- ・ 一般傍聴者の事前申し込みについて
- ・ 一般傍聴者の事前申し込みの対応方針
 - 申し込み手段 (e-mail, FAX, 電話)
 - 参加定員の設定
 - 参加者の選考方法 (抽選, 先着順など)

7) 委員会不成立時の規約の適用

円山川流域委員会規約（以下「規約」とする。）第5条第3項によれば、「委員会は、委員総数の過半数の出席をもって成立する。なお、委員の代理出席は認めない。」としている。現地視察である第3回および第4回流域委員会において、この条件を満足しない場合は、当日、現地視察会と名称変更し、執り行うことを庶務より提案しますが、この取り扱いについて審議願います。

【審議】

- ・ 委員会不成立時の現地視察会への名称変更について

8) 現地視察会となった場合の情報公開について

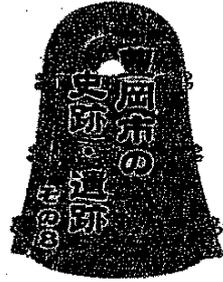
円山川流域委員会では、委員会及び委員会審議に関する情報は原則として公開としている。第3回及び第4回流域委員会が現地視察会となった場合においても、開催状況、議事録等の情報については、ホームページ、ニュースレター等を使用して、公開することについて審議願います。

【審議】

- ・ 現地視察会となった場合の情報公開について

委員からの資料提供 その1

広報とよづか 2002.11.1
No.1010



豊岡市史料整理室

山名宗全の私貿易港

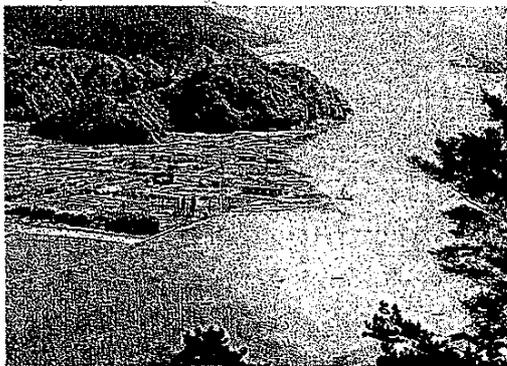
津山海関

円山川河口部は中世以来、日本海航路上の交易中継点及び避難港として、また円山川舟便の拠点として機能してきました。津居山（もと津山）の八幡神社境内にある石造九層塔（写真上。鎌倉後期。県指定文化財）は丹後由良から運送中、時化で避難した舟が

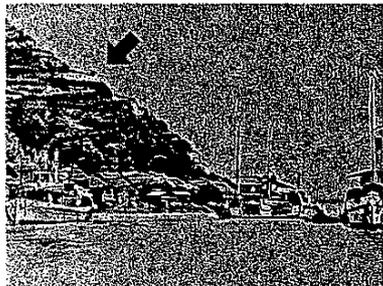


残したものと伝えていきます。朝鮮の申叔舟著「海東諸國記」は、応仁の乱が始まった応仁元年（一四六七）に「但馬州津山関佐々木兵庫助源吉」が朝鮮に使節として派遣されたことを記しています。「津山関」とは津居山に置かれた海の関所で、津居山港を経由する舟に日本海航路と円山川舟便を問わず関銭を賦課したものです。九層塔のある八幡神社社域はこの海関跡にあるもので、周辺は中世山城として整備されていますから軍事目的（例えば和寇に対する）も推定されます。この位置からは、円山川河口部一帯と津居山湾を一望できます（写真中）。

◆ ◆ ◆
佐々木國吉が津山関を管掌し、朝鮮特使と



して派遣されたということ、山名宗全の名代として山名氏の朝鮮貿易に重要な役割を担っていたことをうかがわせます。当時、対中国貿易はいわゆる勘合貿易でした。勘合船は名義上は日本国王（將軍）が派遣したが、実際は有力守護大名の経営で、その利益は大きく、応仁の乱も勘合の割当争いが原因との分析もあるほどです。十六世紀に入ると勘合は大内氏の独占に帰し、「小京都」山口の賑わいに見られる繁栄をもたらしました。



た。山名氏が有勢であった時代、当然勘合の分け取りにも加わりましたが、朝鮮を相手とする日本海航路による私貿易の拠点が津山海関であったと見ていいでしょう。◆ ◆ ◆津居山湾は江戸時代以降には、北前船貿易港として栄えました。写真下は明治末期のもので洋船・和船の姿や海関碧（印）遺構の様子が記録されています。ちなみに津居山は津山が音便化したもので、一五〇〇年代に入るところから両様の発音が見られ、一六〇〇年以降は半々の状態で、昭和初期まで「津山」は使われていました。

委員からの資料提供 その2



但馬の大動脈 “円山川”の名の 分布と変遷

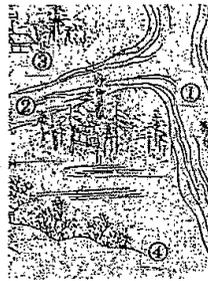
円山川は豊岡だけでなく但馬の大動脈として、古くからその歴史に關つてきました。一般には、主要街道に沿つて地域は發展するものですが、但馬では山陰道（現在の国道9号線沿い）ではなく、円山川と主要支川流域が常に中心的役割を担つてきました。

円山川は生野町の丸山および太源山支峰の2水源から發し、日本海まで本流長六八キロメートルを流れ下り、流域面積一三〇〇平方キロメートルは但馬全域の三分の二を占めます。円山川は丸山の麓の村・円山にその名をとっていますが、金川の河川名として固定するのは案外新しく、近代以降のことではないかと思われま

年々、洪水の被害をもたらす円山川の治水は、江戸時代の分散した支配体制や経済状況では極めて困難で、近代國家として統一された明治政府下で始めて全川的な治水対策が講じられることになったのです。そのためにも名稱の統一が必要となつたのでしよう。

円山川は、江戸時代までは地域ごとの名稱が、同時に金川名としても用いられました。円山川も、水源付近の呼名であるとともに、全体の名としても使われました。朝来川・養父川・気多川・城崎川は郡名から来ています。豊岡川は主として中下流部で、支流と區別する意味では大川が、文学的には蓼川が使われました。

興味深いのは享保十八年



「湯島温泉記」の図
① 円山川
〔(生)野川とある〕
② 大谿川
③ 現地蔵湯の位置
④ 現公民館の位置

（二七三三）の「湯島（城崎）温泉記」の記述です。水源部の円山村近くでは「湯島川」を用い、逆に下流部の湯島周辺では「生野川」と呼んでいるのです。「豊岡」を別として、郡名以外で「湯島」と「生野」を使うのは、それぞれ温泉と銀山としての著名度の高さによるものでしょう。

かわりに宝曆十三年（一七六三）の「但州湯島道中独案内」は徹底して川の名を出していません。「舟」を「舟路」とするだけです。

「円山川」が公式に金川名となるのは、明治七年九月二十五日付の豊岡県達で河道路等級表が公布されたときかと思われま

丹後の由良川については、公的には明治六年の豊岡県福知山支庁触では「福知川」、翌年の前記の県達では「音無瀬川」と海乱し、地域ごとの呼種が支庁と本庁の達・触で使い分けられ、この時点では現行の「由良川」に統一されていません。

参考 - 1 第3回・第4回円山川流域委員会日程調整表（委員の出席可能予定人数）

7月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
11人	14人	18人	17人	20人	15人	12人
6	7	8	9	10	11	12
10人	15人	19人	16人	14人	15人	12人
13	14	15	16	17	18	19
12人	16人	18人	15人	15人	15人	14人
20	21	22	23	24	25	26
11人	14人	15人	13人	16人	15人	14人
27	28	29	30	31		
					<div data-bbox="1653 1310 2056 1445" data-label="Text"> <p>【予定時期】 : 第3回委員会 : 第4回委員会</p> </div>	